

[Office 2016 の紹介]

2016年2月27日 河出 修

[Office 2016 について]

- ★ Office 2016 は 2015年9月30日に 発売開始された。
- ★ Office 2016 は Windows 7/8/10 で使用でき、次の3種類がある。

Office 2016 の種類	含まれるプログラム
Office Personal 2016	Word、Excel、Outlook 他
Office Home and Business 2016	Word、Excel、Outlook、PowerPoint 他
Office Professional 2016	Word、Excel、Outlook、PowerPoint、Access 他

- ★ Windows と Office のサポート期限は次の通りです。

Windows の種類	サポート期限	Office の種類	サポート期限
Windows Vista	2017/4/11	Office 2007	2017/10/10
Windows 7	2020/1/14	Office 2010	2020/10/13
Windows 8/8.1	2023/1/10	Office 2013	2023/4/11
Windows 10	2025/10/14	Office 2016	2025/10/14

- (注1) Office 2016 と Office 2013 との併用はできない。
(注2) Office Personal 2016 のサポート期限は、2020/10/13 まで。
(注3) Office Personal Premium という製品表示もあるが、最新のOffice Personal という意味である。
(注4) 上記の他に、「Office 365」サービスがある。このサービスは1ヶ月または1年契約で、最新の「Office Professional」+「1TB」の「OneDrive」が使用できる。

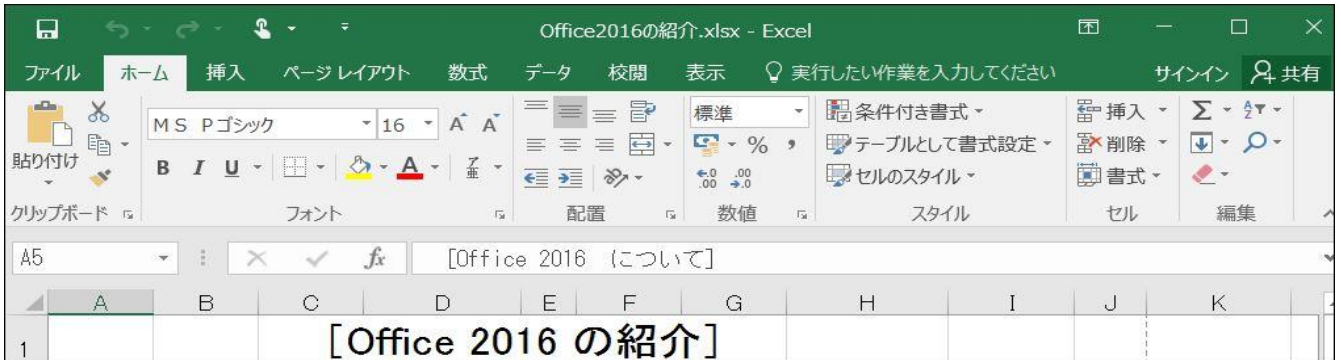
1. ファイルの共有がより簡単に
 - 「One Drive」(クラウド)とのさらなる統合により、簡単な操作でファイルを共有できる。
2. 使いやすさがさらに向上(操作アシスト)
 - 利用したい機能や必要な情報を、すばやく見つけることができるようになった。
3. 共同編集機能の強化
 - ひとつのドキュメントを複数人で共同作成している場合でも、リアルタイムで変更が確認できる。

[Word 2016 の主な改善点]



1. 操作アシストで素早く操作
 - 「実行したい作業を入力してください」というテキストボックスへ、次にしたい操作を入力して、実行したい操作にすばやくアクセスできるテキスト フィールドです。
2. リアルタイムで共同作業
 - OneDriveに保存された文書を他の人と共有すると、相手の変更箇所をリアルタイムで確認できる。
3. 複雑な数式を簡単入力
 - [挿入]、[数式]、[インクで数式を挿入] をクリックして、複雑な数式を文書に挿入できる。
4. バージョン履歴の改善
 - [ファイル]、[履歴] の順に選んで、文書に加えられたすべての変更の一覧を表示し、以前のバージョンにアクセスすることができる。
5. 図形のクイック設定
 - [図形] ギャラリーから図形を挿入する時、素早く簡単に必要な外観にできる。

[Excel 2016 の主な改善点]



1. 操作アシストで素早く操作

- 「実行したい作業を入力してください」というテキストボックスへ、次にしたい操作を入力して、実行したい操作にすばやくアクセスできるテキストフィールドです。

2. リアルタイムで共同作業

- OneDriveに保存された文書を他の人と共有すると、相手の変更箇所をリアルタイムで確認できる。

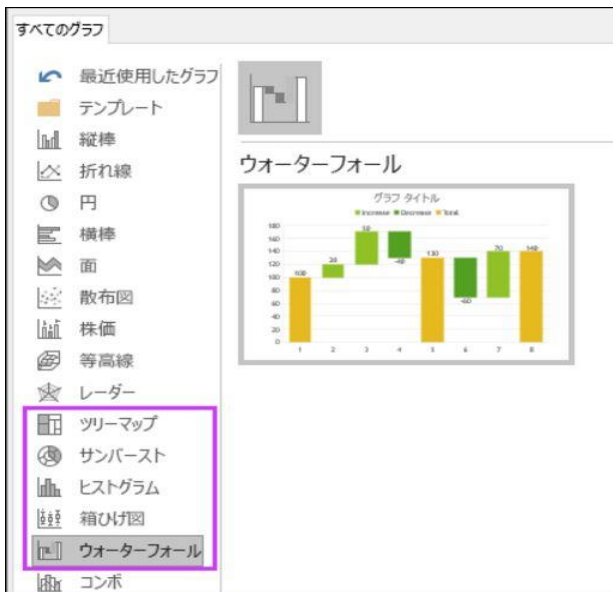
3. 複雑な数式を簡単入力

- [挿入]、[数式]、[インクで数式を挿入] をクリックして、複雑な数式を文書に挿入できる。

4. バージョン履歴の改善

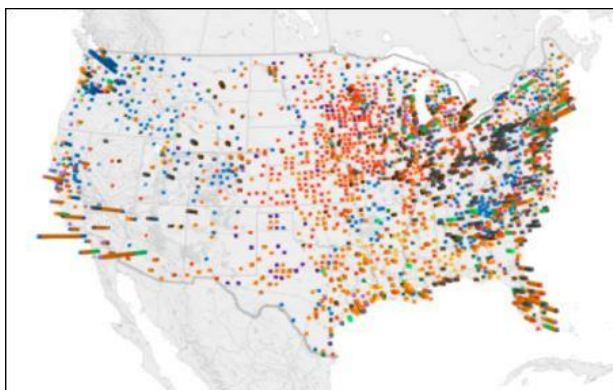
- [ファイル]、[履歴] の順に選んで、文書に加えられたすべての変更の一覧を表示し、以前のバージョンにアクセスすることができる。

5. グラフの種類が増加



- 左図のようにグラフの種類が増えている。

- ・ツリーマップ
- ・サンバースト
- ・ヒストグラム
- ・箱ひげ図
- ・ウォーターフォール



- 左図のように3Dマップも追加された。
・3-D 地理空間視覚エフェクト ツール



「3Dマップ」用のボタン

6. ピボットテーブルの機能拡張

●主なものは次のとおりです。

- ・リレーションシップの自動検出
- ・カスタム メジャーの作成、編集、削除
- ・自動の時間グループ化
- ・ピボットテーブルのフィールド リスト内の検索
- ・スマートな名前変更 :ブック全体の名前の自動変更

7. ワンクリックでの予測

●線形予測のみが利用可能だったが、FORECAST 関数が指数平滑化に基づいた予測を可能にするように拡張された。



青色:売上実績

橙色太線:
売上予測

橙色細線:
信頼下限
信頼上限

[PowerPoint 2016 の主な改善点]



1. 操作アシストで素早く操作

●「実行したい作業を入力してください」というテキストボックスへ、次にしたい操作を入力して、実行したい操作にすばやくアクセスできるテキスト フィールドです。

2. リアルタイムで共同作業

●OneDriveに保存された文書を他の人と共有すると、相手の変更箇所をリアルタイムで確認できる。

3. 複雑な数式や注釈を簡単入力

●[挿入]、[数式]、[インクで数式を挿入] をクリックして、複雑な数式を文書に挿入できる。
●[インクツール] で手書きの注釈を追加したり、手書き図形を描き、図形に変換できる。

4. バージョン履歴の改善

●[ファイル]、[履歴] の順に選んで、文書に加えられたすべての変更の一覧を表示し、以前のバージョンにアクセスすることができる。

5. 画面録画

●数回クリックするだけで、最適な録画の画面を プレゼンテーションに含めることができる。

6. その他

●「黒のテーマ」、画面切り替え効果「変形」、「PowerPoint デザイナー」等が使えるようになった。